

## 聖書を枕に 異名サムライ 高島総元氏の回心談



戦後から半世紀以上が経ちましたが、私自身の過去をふりかえらせていただきながら、今日まで本当によく生かされてきたものだとつくづく感じさせてもらっています。

私は下級幹部として内地で終戦を迎え、当時私の持っていた計画、指針などが全て崩れてしまい本当にヤケクソになっていました。私の兄が南米ブラジルのアマゾンに移住していたので、呼び寄せてもらって渡伯を志したのも、そんな生活から抜け出したかったからです。しかし、ジャングルの生活は馴染めず、町で見つけた仕事も思うようにいかず、自暴自棄になりピングという強い酒を飲まないで落ち着かない毎日でした。

そんな時、勤めていた建築会社の同僚の母親が私に聖書を一冊くださったのです。せっかく私に心の支えをと気遣ってくださったのに、私は聖書を読むどころか、昼寝の時に枕がわりにして高いびきをかいていたのです。

毎晩サンパウロの街で飲み歩いていてある日、店から人様のジャンパーも一緒に家に持って帰ったことがありました。家ではうるさい父親だったので自分の過ちを家族には知られたくなくて「酔っ払いが置いていったんだ」とつくろったのですが、それがなぜかその嘘がここに引っ掛かって3日間、体が思うように動かず、「お前のような奴は死ぬ」という声がきこえてくるのです。「何とか助けてください。家族もいるので」とたのんでいるうちに「もし、お前が助かりたいならお前が枕にしている本（聖書）に書いてあるようにしなさい。」

私は一度も開いたことのない聖書をぱっと開いたらこう書いてあるのです。「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦しすべての悪からわたしたちを清めてくださいます（ヨハネ書第一の手紙1章9節）」また、ほかの箇所をよもうとしても、また同じところが出るのです。寝られない、食べられないでふらふらになって、このままではいけないと、「実は嘘をついていたのは私だ。本当にこれまで悪い夫であり、父親だった」と家族の前に手をついてあやまりました。すると、ずっと気が晴れて、がまんしているわけではないのですが、酒もタバコも欲しくないので、変えられたんですね。教会はこれまでは前まで連れて行かれても入らなかった私でしたが、自分から入っていきましました。どうせ三日坊主だろうと言われましたが、今も出かけています。これはすべて神様の一方的な憐れみです。感謝あるのみです。

「アンデスの声」との出会いは、ある方に教えられて、早速短波ラジオを買ってききはじめてのですが、サンパウロ市内の放送より良く入ってきました。それから時間になるとスイッチをいれるのが習慣になりました。ブラジルには「アンデスの声」をきかれて教会に導かれた人たちが多くおられます。これからも世界中の日本人のためにご活躍くださるよう心からお願い申し上げます。

(1995 年 7 月取材)

## サタデー・トーク

## バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
10月01日	クリスチーンのアメ리카新発見：バージニア州	10月02日	聖書遊覧バス：出エジプト記34章
10月08日	南米ふれあいの旅：高島総元（サンパウロ）	10月09日	リスナーからのお便り交換の時間
10月15日	マリンバの調べ（ハンガリア舞曲他）	10月16日	聖書遊覧バス：出エジプト記35章
10月22日	女ばかり南米大陸をゆく（高山病）	10月23日	聖書遊覧バス：出エジプト記（終）
10月29日	宗教改革記念日（マルチン・ルター伝）	10月30日	聖書遊覧バス：ヨシュア記1章

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz （再放送） 午後8時～8時30分 15565kHz  
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）

\*受信報告書をメールで送る場合： [hcjbJapan.office@gmail.com](mailto:hcjbJapan.office@gmail.com)

